



YMCA学院社会福祉学科通信制在籍
 社会福祉法人まつの木会 まつの木作業所 生活支援員
 角野 歩 さん

家庭的なぬくもりの中で

「復学してちょうど1年ですね」。快活に語るのには障がい者支援施設に勤務する角野歩さんです。角野さんは働きながら社会福祉士の資格を取得することを目指して2018年にYMCA学院の社会福祉学科通信制に入校。しかし、ある理由から1年半もの間、休学を余儀なくされました。

角野さんは知的・身体・精神に障がいのある人たちが通う施設の生活支援員です。「どんな仕事ですか?」との質問に、角野さんが述べたのは「家庭的なぬくもりの中で“なかま”たち(利用者さん、ご家族、職員)と共に過ごす仕事」でした。「利用者さん一人ひとりには“生きる力”があります。寄り添い、向き合い、必要なところには手を添えて、『できた』を重ねていきます。この仕事は『介助・介護・支援』と業務の内容によって区分されることもありますが、“できるところ探し”をしながら共に過ごしている、と言った方がしっくりきますね。施設を利用する皆さんは私にとっては太陽のような存在。私自身が日々、励まされています」。

“生きづらさ”が示した、生きる道

自分って何だろう...

角野さんは大学卒業後、児童発達支援センターに就職しましたが、入職してわずか3カ月後に退職。角野さんが患う「てんかん」が理由でした。「新卒時、どうしたらよいのか分からなくて、障害者手帳を持っていることを告げずに就職してしまったんです…。大きな発作は起きなくても定期的に通院、投薬が生涯必要。やむを得ない状況となり辞めることになりました」。その後も子どもの福祉の仕事に関わりながら、角野さんの関心は成人の福祉にまで広がっていきました。「てんかんというハンデのある私を受け入れてくれる職場なんてあるのだろうか」。そう思いながら受けた、まつの木会の採用試験。「所長が『みんなで楽しく一緒にお仕事していきましょう』とあたたかく迎え入れてくださって、素直に嬉しかったです」。

角野さんが働きながら通信制の学校に通って社会福祉士の資格を取得しようと思ったのもこの頃。ところがYMCA学院の社会福祉学科通信制で18カ月の課程が始まって数カ月後、角野さんに大きな試練が立ちはだかります。視界に黒い点が入っていることに気づき、眼科を受診すると視野狭窄と診断されたのです。「文字も見えづらく、見える範囲が狭くなっていきました。まるで目にカーテンがかけられていくようで」。主治医にはてんかん発作の一つである可能性も指摘され、「生きづらさって増すばかりなのかな。自分ってなんだろう」と感じたと言います。

私を支えた2つの“居場所”

「始まったばかりの社会福祉士の勉強を全うできないのではと、不安で押し潰されそうでした」。退学さえ考えていた角野さん。「自分の体、病気と勉強に向き合えるようになるまでの1年半の休学を経て復学できたのはYMCAだったから。先生や同じクラスの仲間の支えがあって、『YMCAで学んだことを活かしたい。どうにかして、できることを増やしたい』と思えるようになったんです」。

現在の施設に入職して3年。自宅では祖父母の介護もあり、仕事と私生活の境がないように感じることもありました。「まつの木の利用者さんやご家族、職員、なかまみんなに迎えられ、支えられて今の私があります」と語る角野さん。治療によって視野異常の進行は抑えられ、てんかんによる大きな発作も起きていないものの、自分の体調と向き合いながら働く日々。しかし家庭的な職場環境での仕事はやりがいに満ちていることがうかがえました。

「この仕事、この職場、ここにいる“なかま”たちが大好きです。家庭的なぬくもりの中で“なかま”たちの居場所づくりをしていきたい。小さなステップの積み重ねですが、そんな人生を送るのが私の夢です」。あと2カ月余りで通信制課程の修了を迎える角野さん。今夜も仕事を終えて、最後の科目レポートに取り組んでいます。



Pickup

日頃の感謝を伝える
 花の日特集

「大江教会
 牧師先生ありがとう」
 水前寺幼稚園



阿蘇広域消防本部の
 皆さんへ
 赤水保育園

「いつもお昼ごはん
 ありがとう」
 ぶどうの木幼稚園



Information 行こう 見よう 深めよう

仲間と楽しもう サマーキャンプ

7 13 14 15

自然
×
仲間

好評をいただいているサマーキャンプの電話受付がスタートしました。今年は13のキャンプを企画。今こそ、大自然の中で思いっきり野外活動を楽しみましょう。



注目キャンプ

地球大好きキャンプ

世界の目標であるSDGsについて一緒に学びを深めましょう。めざせ、地球の恵み×SDGs＝地球大好きっ子！

回2泊3日 8月23日(月)～8月25日(水) 回小学1年生～中学生

種子島宇宙キャンプ

「世界一美しいロケット発射場」と呼ばれる種子島宇宙センターを訪問し、宇宙についての最新科学技術を学びます。

回4泊5日 8月1日(日)～8月5日(木)

回小学3年生～中学生

その他大人も参加できる富士登山キャンプなど、山や海を楽しむキャンプが盛りだくさんです。

回Tel 096-353-6391

詳細はWebで



動画もチェック



玉名市小岱山 季節を感じる山登り

3 15

山
×
楽しむ

玉名市でおなじみの小岱山で登山を楽しみましょう。様々な自然体験が子どもの心とからだの成長を促します。

回夏の登山 8月8日(日)・秋の登山 11月21日(日)・冬の登山 2月20日(日)

時間 9:00～15:00(お弁当の持参をお願いします)

回小学1年～6年生

回玉名市桃田運動公園

回1,000円 回各10名

玉名市桃田運動公園ではその他にもプログラムを企画。詳細はWebで。



YMCA本館オープン記念行事

11 17

本館
×
体験

5月にオープンしたYMCA本館では、7月末に隣接部の工事が終了します。それに伴い、特別プログラムを開催し、防災設備などをご紹介します。YMCA学院のオープンキャンパスも同時開催。詳細は7月中旬にWebサイトでお知らせします。お楽しみに。

回8月8日(日) 場YMCA本館(熊本市中央区段山本町4-1) 回Tel 096-353-6391



Amazon「みんなで応援」プログラム

昨年11月18日(水)からスタートしたAmazonによるプロジェクト「みんなで応援」プログラムにより、多くの皆さんから応援物資が届いています。皆さんからの物資は子どもたちや若者がYMCAで笑顔で過ごせるよう活用します。引き続きご協力をお願いいたします。

Amazon「みんなで応援」プログラムとは

Amazon「欲しいものリスト」を活用したチャリティーキャンペーン。Amazonのサイト上で公開されたリストから商品を購入すると応援物資としてYMCAに商品が届きます。



いただいた「ラダー」は体操教室で大活躍

回日時 回会場 回内容 回参加費 回定員 回参加条件 回持ち物 回対象 回主催 回締切 回申込 回問合せ 回その他

Compassion

コンパッション Vol.4

総主事 神保 勝己

日頃の備え

自然災害は、今年もどこかで起きるかもしれません。令和2年7月熊本豪雨は、長時間断続的に大雨をもたらした梅雨前線が停滞した結果、線状降水帯によって積乱雲が次々と発生し、一級河川である球磨川が氾濫。それにより、県南地域に甚大な被害を及ぼしました。三大急流の一つである球磨川では、人吉の豊かな自然を船上から満喫できる球磨川下りが100年以上もの間、多くの方々に楽しまれてきまし

た。豊かな自然が一瞬にして命やこれまでの生活を奪ってしまうことになるのが、災害です。このような自然災害を目の当たりにし、私たちに何ができるのか。大規模災害が起こるたびに考えさせられます。神様の御心はどこにあるのでしょうか。

しかし、自然災害は決して神の裁きではなく、何かの報いでもありません。備えや自然との共存、人との絆が大切であること、命の尊さなど、私たちが様々なことに気づく機会にもなるのではないかと思います。それでも実際に身内が亡くなったり、甚大な被害を受けた直後にそのように考えることなど出来ないと思います。時が経って祈り、神様と対話する中で御心を感じ取ることができるのではないのでしょうか。

私たちにできることは、災害への備えです。今一度、防災用品(懐中電灯、水、食料、衣類等)や避難場所の確認をし、家の周りの側溝や排水口の清掃、吹き飛びやすいものを固定するなどの対策をしておきたいものです。万一災害が発生してしまったら、十分に注意して行動するしかありません。

YMCAは自治体と連携しながら、5つの指定管理施設および新しい本館を発災時の一時避難場所とし、近隣住民の方々を受入れることを想定しています。ウエルネスセンターや幼稚園、保育園等においても可能な限り受入れを行います。大きな災害が起こらないように祈りつつ、予測不可能な事態に陥る可能性も見据えた命を守る備えが大切です。

R | E | P | O | R | T

[5月19日⇒ 6月9日]

学 び

怒りと上手に付き合う アンガーマネジメント講座

8 16

YMCAフィランソロピー協会では5月19日(水)、講師に日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントコンサルタントの池田福美さんを招き、オンラインによるアンガーマネジメント講座を開催しました。

「アンガーマネジメントとは、大きく意識すると怒りを後悔しないこと。すべての人が自分の感情に責任を持つことが出来れば、私たちは怒りの連鎖を断ち切ることができます」と池田さんは話します。怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要のないことには怒らないといった線引きの重要性を学びま

した。講座内では、怒りの正体を知るための「タイプ診断」にチャレンジ。結果を見て頷く人もいれば、驚いた表情をする人もいて、画面越しに様々な反応を見ることができました。

城野印刷所の桑野亮さんからは、「長引くコロナ禍の中でストレスを溜め込んでいる人が増えています。今回の話を思い出しながら、日々円滑に過ごしていければいいなと思いました。アンガーマネジメントという考え方があることも皆さんの職場の中で広めていただければ」と総評が語られました。

職員 西田美幸



会 員

リモート開催 熊本YMCA会員大会

17

2021年度熊本YMCA会員大会は、熊本県がまん延防止等重点措置の適用を受けたことに伴い、5月28日(金)にリモート開催しました。第1部礼拝は日本福音ルーテル大江教会牧師の森田哲史さんが奨励。『さよなら、俺たち』と題し、多文化共生の大切さを話しました。

第2部は特別報告会。昨年の7月熊本豪雨災害支援と球磨村避難所の運営、益城町総合体育館の竣工、木山仮設地域支え合いセンターの運営終了の報告がなされました。

第3部表彰では、永年在籍者表彰対象者を代表し

て会員在籍50年の上田博仁さんを訪問して表彰。特別表彰は、40年以上の永きにわたって絵画講師として尽力された淵田安子さんに感謝状を授与しました。淵田さんは、「YMCAはお風呂に入っているように居心地がよかった」とこれまでをふり返りました。最後に第4部定期総会で、2020年度の活動報告と決算報告、2021年度の事業計画と収支予算についての報告と常議員の紹介がなされ、閉会しました。大会の様子はWeb

サイトでも報告しています。

職員 辻健太郎



淵田安子さんアトリエにて

専門学校

楽しく学ぶ パネルシアターのワークショップ

4

5月28日(金)、大分県のパネルシアター専門劇団「DANパネ団」の「なべさん」こと渡辺繁治さんによるワークショップを開催しました。

パネルシアターとはボードに絵や文字を貼ったり外したりして話を展開していく表現方法のこと。ワークショップには、保育者を目指して学んでいるYMCA学院こども保育科1年生および児童福祉教育科2・3年生が参加しました。

今回渡辺さんが演じたパネルシアターは、すべて手作り。歌もオリジナルで、子どもたちがわくわくするような素敵な作品ばかりでした。学生たちも一緒に

歌って楽しく参加することが出来ました。また、実際に「3匹のこぶた」を題材にパネルシアター製作を行い、演技方も学びました。

学生からは「渡辺さんのパネルシアターは聞きとりやすい声ですぐに引き込まれた。自分もそんな風になりたい」などの感想が聞かれ、学ぶだけでなく刺激も受けた様子でした。これからは子どもたちが楽しめるように繰り返し練習をし、演じる「技」を磨いてほしいと思います。そして、さらにパネルシアターを好きになってくれることを願っています。

職員 入江真理子



ユース

SDGsを考える 世界ユースサミットYLSS

17

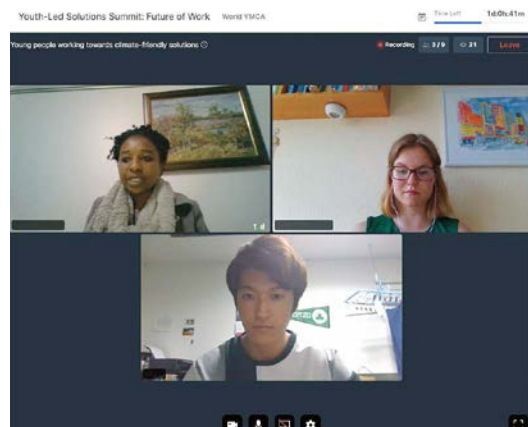
6月7日(月)～9日(水)、国連・学界・青少年団体・民間企業の協力のもと、世界YMCA同盟がオンラインでYouth-Led Solution Summit The Future of Work Summit (YLSS)を開催。2020年10月から2022年7月にわたって数回行われ、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて若者(ユース)による社会的変革を推進することが目的です。

今回熊本YMCAからは2名のユースが参加し、「専門性の高い議題や発表が全て英語で行われ、初日は苦勞しました。2日目以降にはグリーンエコノミーなど間接的に解決につながるテーマが増え、よく理

解できました。ナイジェリアのキャンペリーダー、フランス人の世界YMCA同盟スタッフなどともつながることができ、議論を通じて楽しみながら学べました。今後のリーダー活動に活かしたいです」などの感想が寄せられました。

ユースはYMCAにとっての命であり、魂です。今後も、日本のみならず全世界で行われるユースエンパワメント(若者が自分の内なるパワーや可能性に気づき、主体的に行動していくためのプロセス)の場に、多くの人に参加してほしいと願っています。

職員 伊藤真太郎



わたしのSDGs！

皆さんから投稿されたSDGsの
取組を紹介しします



11 14 15

▲ゴミ拾い

投稿者／なまず

ゴミを拾うことが良いことではなく、ポイ捨てしない世の中になることが、海や陸の豊かさを守ることになります。未来を信じてゴミを拾います。



15

◀足の日焼けに注目！

投稿者／田んぼクラブ

地球にも人にも優しい完全無農薬の田んぼの草取りを体験！楽しかった～。



14

黒メダカ▶

投稿者／飼い主

メダカを飼うことは水を考えること。我が家の小さな自然の循環を守ることが地球環境を考えることにつながる気がします。



15

◀家庭菜園に挑戦

投稿者／ひのつび〜

今年はミニトマトを種から育てて、今3株あります。どれもたわわに実っています。その他にもピーマンとオクラも育てています。収穫が楽しみです。



12 15

▶コーヒーかすの再利用

投稿者／もちもち

万能なドリップ後のコーヒーかす。我が家では、かすを集めて肥料や消臭剤として活用します。捨てるなんて、もったいないのだ。

個人でも、
企業・団体
でもOK

わたしのSDGs
募集中

投稿はこちら▶



全国ウォーターセーフティー キャンペーン

熊本YMCAでは「全国YMCAウォーターセーフティーキャンペーン」の一環で30年以上にわたり、子どもたちを対象に水難事故を未然に防ぐための「着衣泳体験」を行っています。また1995年より、小学校・幼稚園等ヘリダーを派遣し、毎年約3,000名の児童や大人を対象に、ウォーターセーフティー（水上安全）講習会を実施しています。6月20日（日）の「全国YMCAウォーターセーフティーデー」には、近隣小学校の水泳が苦手な児童を対象に特別水泳プログラムを行いました。



6月18日（金）は、益城町の津森小学校で「みんな泳げる25m運動」と称し、水泳指導の特別授業を実施。津森小学校では、72年前の修学旅行中に児童と教師、校医の24名が亡くなった海難事故を教訓に、8年前から「いのちを守る」特別授業が始まりました。これからも「自分の身を守る術を身につけ、いのちの大切さを感じてもらいたい」と願って、活動を続けていきます。

わたしと聖句

イザヤ書43章4節

わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している（新改訳2017）

あなたは大切な存在

聖書のなかには、以下の言葉が記録されています。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」。これは、天地万物の創造主であられるイエス様の言葉です。イエス様は全ての人間に対して「愛している」と言われます。ですから、あなたはすでにイエス様から愛されています。そして、このイエス様の愛こそ、人間が最も必要としているものです。

あなたには、あなたを心から愛してくれる人がおられるでしょうか。また、あなたは自分

熊本植木キリスト教会
吉田 文人

ことを心から愛しているでしょうか。あなたのことを心から大切に愛してくれる相手がおられるならば、それは本当に幸いです。人間にはだれでも、愛してくれる相手が必要です。社会でどんなに成功したとしても、心から自分を愛してくれる人がいないならば、なんと寂しいことでしょうか。たとえ、大金持ちになったとしても、愛してくれる人が誰一人いないならば、なんと悲しいことでしょうか。しかし、たとえ貧しくても、世の中で認められなくとも、あなたを心から愛してくれる人がいるならば、私たちは生きていけます。愛とは私たちの生きる原動力です。

イエス・キリストは愛なる神様です。そしてイエス様はあなたのことを心から大切にしています。イエス様はあなたを心から愛しておられます。あなたは大切な存在なのです。あなたはかけがえのない存在です。あなたはすでに愛されています。

次号は8月・9月合併号として、8月下旬に発行します。

発行所／（公財）熊本YMCA

〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1

TEL 096-353-6397(代)

発行人／神保 勝己 編集人／辻 健太郎

定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2021年度基本聖句

コリントの信徒への手紙二 4章18節

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。